関西大学経済・政治研究所
第218回産業セミナー

聴講自由

【開講の挨拶】

本セミナーは、大阪を中心に関西全域を視野に入れつつ、近代の大阪がどのようにアジアとの経済関係を構築したのか、様々な事例研究を踏まえて検討することを目的としております。

19 世紀後半から大阪は紡績業を中心に日本経済を支えました。貿易面では神戸が横浜と共に日本経済を牽引しました。そのため大阪と近代アジアの経済関係を考える時、神戸は無視できるものではありません。そのため本日は近代神戸を中心に考察します。

＜アジアにおける近代大阪の発展研究班　主幹　西村　雄志＞

日　時：平成 28 年 10 月 19 日(水)13：00～16：10
会　場：千里山キャンパス児島惟謙館２階第２会議室

【テーマと報告者】

「東アジアの経済発展と海外直接投資-台湾資本の対ベトナム進出を中心に-」

アジアにおける近代大阪の発展研究班研究員
関西大学・経済学部教授
北波　道子

「明治期の神戸・大阪における外国銀行」

アジアにおける近代大阪の発展研究班主幹
関西大学・経済学部教授
西村　雄志

◆ 対象者　経営者、企業・行政関係者、社会人
◆ 聴講自由　参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。(定員 100 名)
◆ 連絡先　〒564-8680　吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号
関西大学研究所事務グループ TEL(06)6368-1179／FAX(06)6339-7721
http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/

主　催　関西大学経済・政治研究所
後　援　大阪商工会議所
大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行

関西大学

130 KANSAI UNIVERSITY